

平成23年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 カワサキ

コード番号 3045 URL <http://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎 治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長

(氏名) 堀田 義行

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第1四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第1四半期	669	△4.5	105	30.0	130	—	60	—
22年8月期第1四半期	700	△6.0	81	17.1	△64	—	△44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第1四半期	48.76	—
22年8月期第1四半期	△34.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年8月期第1四半期	7,526		3,350		44.5	2,703.39
22年8月期	7,605		3,304		43.4	2,665.99

(参考) 自己資本 23年8月期第1四半期 3,350百万円 22年8月期 3,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	11.25	—	11.25	22.50
23年8月期	—				
23年8月期(予想)		11.25	—	11.25	22.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,415	3.8	161	39.1	110	—	56	—	45.50
通期	2,787	5.3	288	50.9	185	—	100	—	80.26

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、 除外 一社（社名 ）、

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年8月期1Q	1,450,500株	22年8月期	1,450,500株
② 期末自己株式数	23年8月期1Q	211,096株	22年8月期	211,024株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年8月期1Q	1,239,404株	22年8月期1Q	1,267,709株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成22年9月1日～平成22年11月30日）におけるわが国経済は、企業収益の改善及び設備投資の持ち直し等、緩やかな回復は見られたものの雇用情勢は依然として厳しい状況にあり、また、不安定な世界経済の減速懸念や円高の進行などから、先行きに対する不透明感が増す状況が継続しております。

このような情勢下、当社グループの服飾事業におきましては前連結会計年度に引き続き新規取引百貨店の開拓を進めました。賃貸・倉庫事業におきましては前連結会計年度に取得した賃貸物件の賃貸先募集を進めました。これらの結果により、当第1四半期連結会計期間の連結業績は売上高669,136千円（前年同四半期連結会計期間比4.5%の減少）、経常利益130,614千円（前年同四半期連結会計期間は64,367千円の経常損失）となりました。この主な要因は、前年同四半期連結会計期間は営業外費用に「包括的長期為替予約」の評価損等を為替差損として141,193千円の計上がありましたが、当第1四半期連結会計期間は為替差益25,524千円の計上となったことによるものであります。以上の結果、四半期純利益は60,432千円（前年同四半期連結会計期間は44,057千円の純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①服飾事業

当事業部門におきましては、前連結会計年度に引き続き直営店展開と新規取引百貨店の開拓を進めました。売上高は525,298千円（前年同四半期連結会計期間比9.1%の減少）、営業利益は45,115千円（前年同四半期連結会計期間比4.2%の増加）となりました。

②賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、売上高は賃貸物件の購入増により、143,838千円（前年同四半期連結会計期間比17.5%の増加）、営業利益は59,840千円（前年同四半期連結会計期間比59.7%の増加）となりました。

③不動産仲介業

当事業部門におきましては、当四半期連結会計期間における売上高はありませんでした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて26,513千円（1.8%）増加し、1,502,909千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が41,983千円減少したものの、受取手形及び売掛金が63,703千円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて105,869千円（1.7%）減少し、6,023,716千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が24,768千円、土地が32,400千円、投資その他の資産が50,906千円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて101,431千円（2.9%）減少し、3,349,616千円となりました。この主な要因は、短期借入金50,000千円、通貨スワップ契約等が56,266千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて24,085千円(2.8%)減少し、826,416千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少39,360千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて46,161千円(1.4%)増加し、3,350,592千円となりました。この主な要因は、四半期純利益60,432千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結会計期間末に比べて97,673千円減少し、341,939千円(前年同四半期連結会計期間末比22.2%の減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益117,409千円、減価償却費42,997千円となりましたが、売上債権の増加額63,703千円、通貨スワップ契約等の減少額56,266千円、たな卸資産の増加額12,691千円により営業活動によるキャッシュ・フローは38,538千円の収入(前年同四半期連結会計期間は151,486千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の売却による収入が32,400千円あり、当第1四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは28,266千円の収入(前年同四半期連結会計期間は465千円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減少50,000千円、長期借入金の返済による支出39,831千円、配当金の支払13,944千円により当第1四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは103,844千円の支出(前年同四半期連結会計期間は23,606千円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月期決算発表時(平成22年10月14日)の予想を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提とし、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は428千円減少し、税金等調整前四半期純利益は13,633千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、27,698千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	341,939	383,923
受取手形及び売掛金	262,394	198,691
商品及び製品	657,082	652,276
原材料及び貯蔵品	95,677	87,791
その他	146,951	155,120
貸倒引当金	△1,136	△1,407
流動資産合計	1,502,909	1,476,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,195,427	2,220,195
土地	3,442,330	3,474,730
その他(純額)	31,647	30,929
有形固定資産合計	5,669,404	5,725,855
無形固定資産	21,154	19,665
投資その他の資産		
その他	339,557	390,464
貸倒引当金	△6,400	△6,400
投資その他の資産合計	333,157	384,063
固定資産合計	6,023,716	6,129,585
資産合計	7,526,625	7,605,981

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,599	29,687
短期借入金	2,050,000	2,100,000
未払法人税等	2,910	3,924
賞与引当金	14,811	6,487
通貨スワップ契約等	877,425	933,692
その他	366,870	377,256
流動負債合計	3,349,616	3,451,048
固定負債		
長期借入金	451,390	490,750
役員退職慰労引当金	167,149	165,449
資産除去債務	27,827	—
負ののれん	35,576	39,529
その他	144,472	154,772
固定負債合計	826,416	850,501
負債合計	4,176,033	4,301,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	2,599,428	2,552,940
自己株式	△280,676	△280,606
株主資本合計	3,351,390	3,304,972
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△797	△540
評価・換算差額等合計	△797	△540
純資産合計	3,350,592	3,304,431
負債純資産合計	7,526,625	7,605,981

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	700,555	669,136
売上原価	331,753	296,259
売上総利益	368,801	372,876
販売費及び一般管理費	287,688	267,438
営業利益	81,113	105,438
営業外収益		
受取利息	72	14
為替差益	—	25,524
負ののれん償却額	3,952	3,952
その他	835	591
営業外収益合計	4,861	30,083
営業外費用		
支払利息	9,103	4,582
為替差損	141,193	—
その他	45	324
営業外費用合計	150,342	4,907
経常利益又は経常損失(△)	△64,367	130,614
特別損失		
固定資産売却損	7,784	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,204
特別損失合計	7,784	13,204
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△72,151	117,409
法人税、住民税及び事業税	1,007	383
法人税等調整額	△29,101	56,594
法人税等合計	△28,093	56,977
少数株主損益調整前四半期純利益	—	60,432
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,057	60,432

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△72,151	117,409
減価償却費	44,813	42,997
負ののれん償却額	△3,952	△3,952
支払利息	9,103	4,582
為替差損益(△は益)	9,058	4,943
固定資産売却損益(△は益)	7,784	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,204
売上債権の増減額(△は増加)	△66,852	△63,703
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,022	△12,691
仕入債務の増減額(△は減少)	26,391	7,911
通貨スワップ契約等の増減額(△は減少)	127,898	△56,266
その他	79,091	△10,588
小計	162,205	43,847
利息及び配当金の受取額	72	14
利息の支払額	△8,904	△4,331
法人税等の支払額	△1,887	△991
営業活動によるキャッシュ・フロー	151,486	38,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,587	△4,133
有形固定資産の売却による収入	36,053	32,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	465	28,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△50,000
長期借入れによる収入	32,000	—
長期借入金の返済による支出	△82,890	△39,831
自己株式の取得による支出	△11,205	△69
配当金の支払額	△14,297	△13,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,606	△103,844
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,058	△4,943
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	166,500	△41,983
現金及び現金同等物の期首残高	273,112	383,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	439,613	341,939

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	578,164	122,390	—	700,555	—	700,555
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	3,419	2,390	5,812	(5,812)	—
計	578,167	125,809	2,390	706,367	(5,812)	700,555
営業利益	43,300	37,466	888	81,655	(541)	81,113

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とする財務情報に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業の種類に基づき、「服飾事業」、「賃貸・倉庫事業」、「不動産仲介業」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な内容は、次のとおりであります。

服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア
(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	不動産 仲介業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	525,298	143,838	—	669,136	—	669,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,636	—	2,636	(2,636)	—
計	525,298	146,475	—	671,773	(2,636)	669,136
セグメント利益	45,115	59,840	—	104,956	481	105,438

(注) 1. セグメント利益の調整額481千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。